

# 自然観察 NOW

No. 68

野幌森林公園自然情報

発行：2023年 3月 16日

北海道ボランティアレンジャー協議会

ホームページ <http://voluran.com/>



## 冬はツル

冬にぜひ見て欲しいものがあります。“ツル”です。ツルといっても空を飛ぶ鶴ではありません。花々に気をとられることもないので、木々にしがみつくように絡んだツル植物を観察してみる絶好の機会といえるのではないのでしょうか。

夏場は葉が茂っていて幹の様子などはよく見えませんが、この季節は葉が落ちて見やすくなっています。花が咲いているわけでもなく皆同じように見えますが、花がらや果実、そして冬芽や樹皮に違いがあります。下の写真は野幌森林公園の一角を捉えたものですがここだけでも6種類の木本ツル植物が写っています(⑥はこの奥です。)。特徴的な部分も示しますのでご覧ください。樹皮・花がら等は別の場所の写真もあります。



① ツルアザサイ ② イガラムイ ③ ツクルイ ④ サルナ ⑤ ヤマブドウ ⑥ ツルメトキ

	① ツルアザサイ	② イガラムイ	③ ツクルイ	④ サルナ	⑤ ヤマブドウ	⑥ ツルメトキ
樹皮						
特徴	 花がら	 花がら	 果実		 巻きひげ	 果実-しめつけ

前ページ写真では小さいうえに白黒で分かりにくいと思いますが、実際に見てみるとこのようになっています。

- ・ひげ根のような付着根で木にしがみついているもの

ツルアジサイ、イワガラミ、ツタウルシ

- ・木にからみついているもの

サルナシ、ツルウメモドキ

(特にツルウメモドキは木を締め付け食い込んでしまうほどです。)

- ・巻きひげで他のものに巻き付いているもの

ヤマブドウ

## このような地味めなツル植物にも確実に春は来ています



左上の写真はツルアジサイの冬芽ですがアズキ色から緑色に変わりつつあります。右上のイワガラミの冬芽も中央部から若草色になりつつあるように見えるのはひいき目でしょうか。初夏には花をつけた姿を見せてくれるでしょう。

### 番外編

前ページのツル植物は冬場には葉が枯れていますが、常緑のツルマサキは冬でも緑を保っています。



### 観察会予定

2023年4月20日(木) 春の花を見つけよう 9:50~11:30 自然ふれあい交流館集合

〈文責 藤田 潔〉